

おぐい



2008

7

NO.645

● 広報



～ 大自然まるごと市 ～

ショッピングセンターアスモ内で、今年から毎週木曜日に開催されている「大自然まるごと市」。町内の農家による直売の場として人気があります。立ち寄った6月19日も、多くのかたが朝採りの新鮮な野菜や花、キノコなどを買い求めていました。

シリーズ
③



白い森の
散歩道

ハンギングバスケット講習会

6月20日、町観光協会（土屋民男会長）主催のハンギングバスケット講習会がアスモで開催されました。ハンギングバスケットは、壁に掛ける寄せ植えのことで、家の壁や玄関に彩りを添えるものです。

講習会には20人が参加し、講師の指導を受けながら、実際に寄せ植えに挑戦。それぞれお気に入りの花を選んで、自分だけの作品を完成させていました。



6/7~8

歩いて感じる歴史と自然 十三峠を歩くツーデーウォーキング

山形・新潟両県の観光関係者や有識者で組織する越後米沢街道十三峠交流会（井上俊雄会長・飯豊町）主催のツーデーウォーキングが、六月七日～八日、当町を主会場に開催されました。県内外から参加した三十四人は、大里峠、萱野峠などを越えて、健康の森で一泊。翌日は、黒沢峠と宇津峠を踏破しました。当日は、郷土料理なども振る舞われ、参加者は峠歩きをおしえて交流を深めていました。この交流会では、峠の活用や保全に取り組んでいます。

白い森発



5/28

福祉施設に家電を贈呈 ふれ愛募金会

五月二十八日、小国地区ふれ愛募金会（小野精一会長）による第九回贈呈式が、健康管理センターで行われました。ふれ愛募金会は、東北労働金庫の預金者利息の一部を福祉施設に贈るもので、今回は地域活動支援センター「みらい」に、家電製品を贈呈。本間義信施設長は、「いきいきと個性を發揮できる場づくりに努めたい」と話していました。



—この人に聞く—



小中高一貫教育
国際部会長 木村 功 氏
(沖庭小学校 教頭)

本町で独自に進めている小中高一貫教育の中の国際部会では、外国人指導助手や自作の副読本を効果的に活用して、英会話力の向上を図る授業づくり、小学校教員の指導力強化を図る英会話研修会、国際指導力向上研修会を実施しています。

今年度の英会話研修会では、相模原市立二本松小学校の高橋喜美先生と小国高校のジェシー・ワトソン先生、小国小学校の5年1組のみなさんによる模擬授業を参観し、その後二本松小学校の取り組みをご紹介いただきました。授業での自己紹介ゲームやHow much?ゲームなどをおして、初対面にもかかわらず、英語を使って生き生きと活動する児童たちの姿に、コミュニケーション能力の確実な高まりを実感することができました。今後の取り組みに多くの示唆をいただいた研修会でした。

6/20

花を飾って生活に彩りを



6/1

暮らしを守る地域の力 小国町消防演習

六月一日、町民広場を主会場に、小国町消防演習が実施されました。演習には、本部分団と第一〜第八分団までの消防団員約三百人に加えて、コバレントマテリアル特設消防隊が参加。それぞれ真剣な表情で、放水訓練などに臨んでいました。

また会場では、すみれ保育園の鼓笛隊によるアトラクションが披露されたほか、役場周辺では小国中学校と小国高校の吹奏楽部による演奏に合わせて分列行進が行われ、集った観衆からは拍手が贈られていました。





農作物の生産現場と、私たちの日常が遠ざかるにつれて、食に関する安全・安心が注目されてきています。また一方で、健康への関心の高まりや、輸入穀物の高騰に伴って、国産食材や、伝統の食文化が見直されつつあります。「地産地消」と言われる地元産の米や野菜を積極的に使う取り組みは、近年、各分野で進められています。今回は学校給食をととした地産地消や、食育の取り組みを紹介します。

特集

地産地消と食育 ～学校給食をととして～

給食を取り巻く

全国的な動き

近年、「食」に関しては、栄養の偏り、不規則な食事、肥満と生活習慣病の増加、安全性や食糧自給率など、多くの問題が指摘されています。さらに、国内農業の衰勢による影響を受け、「食」の多様な地域性や、豊かな伝統の味が失われる危機にあると言われています。

国では、こうした状況を踏まえて、平成十七年に「食育基本法」を定め、食育を生きていくうえでの基本的な教養であると位置づけました。特に、子どもに対する食育については、「豊かな人間性を育むための基礎」として認識にたつて、重点的に取り組むべき事項とされています。

また県では、食育基本法を受けて「夢未来やまがた

県の米飯学校給食促進事業

- 米の消費減少
- 米飯給食回数3.5回／週（全国3位）
↓
- 米飯給食を起点とした、県産農産物の消費拡大
↓
- 支援によって米飯給食を3.8回／週に（全国1位を目指して）

食育計画」を策定し、平成十八年から五カ年計画で、食を中心とした地域や産業の活性化を図り、食文化の多様性を育んでいくこととされています。

このような取り組みに加え、県では、本年四月から「米飯学校給食促進事業」を実施して、給食の主食をパンからご飯に代えた場合、その差額分を支援し、米の消費拡大と県内農業の活性化を図っています。さらに、

米飯給食は、パンに比べ、おかずが一品程度追加されることが多いため、地元産農作物を使ったおかずを提供する場合には、その追加差額分もあわせて支援しています。

食育とは、食に関する知識と、食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることを指しています。食育の実践にあたっては、「地産地消」が大きな柱とされ、普及の場としては、学校給食が、効率的な食育活動や、地域の特性に根ざした地産地消を進めるうえで、最適な場であるとされています。

また地産地消は、顔が見える比較的狭い範囲で、生産する側と消費する側が、互いに意識し合うことで、より質の高い商品が地域内で循環されるきっかけとなります。さらに、生産現場と食卓を距離的にも、意識的にも密接に結びつけ、地



町内の米飯給食促進計画

平成19年度	給食回数	米飯給食実施回数	米の使用量	1回あたり米使用量
小国小学校	202回	119回	3,449kg	29.0kg
沖庭小学校	196回	114回	663kg	5.8kg
合計	398回	233回	4,112kg	34.8kg
本年度	2学期以降に月1回増(計6回)			
米消費拡大見込み 約35kg×6回増 = 210kg				

域農業や自然環境などに関心をもつ子どもを育成することにつながります。

町内の学校給食について

現在、小国小学校と沖庭小学校で完全給食が実施され、週三回の米飯給食と、週二回のパンを中心とした給食が提供されています。

このほか、北部小中学校では、週二回の米飯給食と、週一回のパンを中心とした給食が提供され、残り週二回は弁当持参の日となっています。

町では、学校給食において、地元産米の消費拡大と、より品質の高い米の提供を目的として、平成十四年から七年間にわたって、米飯給食の促進に取り組んでいます。これは、町内の農業者や商業者などで構成されている町地産地消推進協議会と協力し、学校給食に使用されていた「県産二等米」と、「地元産一等米」との差額分を支援し、地元産の優良な米を給食に使用してもらおうという取り組みです。これに加えて、本年二学期からは、県の米飯学校給食促進事業を導入しながら、小国小学校と沖庭小学校において、



旬のおいしさ伝えたい

小国小学校栄養士
鈴木 涼子さん

小国は、わらびなどの山菜が有名です。家庭の食卓に山菜料理が並ぶことも多いと思いますが、子どもたちに聞くと、家庭ではあまり食べてないという子どももいるようです。

給食では、小国産の食材や郷土料理を取り入れながら、この地域の食文化や、その豊かさ、旬のおいしさなどを伝えてきたいと思います。そのため、私たち自身も、もっと郷土料理を学んで、地元の味を、きちんと伝えられるよう努力していきたいと思っています。

月一回(計六回分)、米飯給食を増やすこととしました。これにより、米に加えて、地元産農産物を食材としたおかずも提供され、一層地産地消が図られることとなります。

町内の学校では、季節によつて、山菜採りや、農業体験などをおして植物の成長を観察するなど、これまで、地元の農作物など

に関する理解を深める活動が行われてきています。地元生産者のかたからいただいた農産物を給食に使うだけでなく、学習では、生徒自身が生産に携わり、収穫したものを自分たちで消費するというケースも見られます。

こうした活動は、地域と生徒のつながりを深め、地域の一員としての知恵や知



自慢の農産物を 町内の食卓へ

母ちゃん市場
川崎ゆり子さん

現在は、学校給食のほか、町内の福祉施設などでも、広く地元産の商品を利用いただいています。メニューによっては、一定の規格を満たす必要があるため、商品のチェックには気が抜けません。また欠品などに備えるため、同じ商品であっても、なるべく数件の農家から商品を集めて、納めるようにしています。

最近では、農家による直売も好評を得ています。町内のかたがたに利用いただくことで、私たちも一層の励みになっています。

識を養っていくうえで、大切な役割を担っています。生産の現場や、生産者が身近であればあるほど、品質や安全への理解など食育としても効果的で、相乗効果が期待されます。

献立づくりや、地産地消に関する食材利用の取り組みについて、小国小学校の栄養士である鈴木涼子さんに話を伺いました。

地元産農作物が 給食になるまで

- ① 地元産の食材が給食になるまでの流れは、次のとおりとなっています。
- ② 栄養生などによって献立が決められる
- ③ 可能な農作物をさがし、納入先にあたる。

給食になるまで

- ④ 栄養生などによって献立が決められる
 - ⑤ 可能な農作物をさがし、納入先にあたる。
 - ⑥ 納入先では、期日や数量を確認して、注文数量を確保
 - ⑦ 給食に使う日の午前中までに届ける
 - ⑧ 品物の検品を行い、給食づくりを開始
- 平成十五年から小国小学校に地元産の食材を提供している母ちゃん市場で、給食用食材を担当している川崎ゆり子さんに、生産者からみた地産地消の取り組みについて伺いました。

地域の食文化と 農を知る食育を

近年話題となっているメタボリックシンドロームや、米離れ、児童の欠食などは、個人や家庭だけの問題ではなく、社会全体で取り組まなければならぬ課題となってきました。

町ではこれまで、給食以外にも、福祉や生涯学習などのさまざまな分野から、



町内の保育園や小学校などでも、土にふれる機会が積極的に設けられている。

食に関する講座の開設や農業体験、子どもや子どもをもつ親を対象とした体験学習などを展開して、多くのかたに参加いただいています。

今後も、地域の実情に合った地産地消の取り組みを展開していくとともに、まずは家庭から、そして学校、地域での豊かな食文化を守るための食育を進め、次代を担う小国っ子の育成に努めてまいります。

六月

定例会を開会

六月五日～十日

◆専決処分承認

平成二十年度老人保健特別会計補正予算の専決処分が承認されました。これは平成十九年度において、医療給付に係る国の概算交付額が給付実績を下回ったため、平成二十年度の歳入を繰り上げて不足額に充てたものです。

◆一般会計補正予算

二千六百三万三千円

木質チップボイラー施設の用地取得費や、雪害による飯豊山荘の屋根修繕経費などについて所要額を措置しました。また、小国・沖庭小学校の二校で、二学期から米飯給食の実施回数を増やすこととしたほか、小

国小学校に教育相談を行うスクール・ソーシャル・ワーカーを配置することとしました。これにより補正額は二千六百三万三千円の追加となり、予算総額は、五十二億千六百九十万円となりました。

また効率的な除雪体制を確保するため、二・六メートル級のロータリー除雪車二台を更新取得することとしました。

◆特別会計に

七百二十七万五千円追加

白沼簡易水道の漏水箇所への修理費を追加したほか、訪問看護特別会計においては、人事異動に伴う人件費の追加調整などを行いました。

◆農業委員に渡部洋子氏

任期満了に伴い改選される農業委員会委員に、渡部洋子氏（岩井沢）が議会推薦として選出されました。

ヘルスメイトを養成

六月十八日から、町主催のヘルスメイト（食生活改善推進員）養成講座が始まりました。この日は、七人が参加し、生活習慣病などの講話が行われました。今後、調理実習や専門研修などさらに四回の講習を経て、新たなヘルスメイトが誕生することとなります。



小玉川自整協に

県観光物産功労表彰

小玉川地区全戸で組織する小玉川地区自然教育圏整備促進協議会が、平成二十年度の県観光物産功労者として表彰されました。

これは、マタギの伝統を守りながら誘客を図っている同協議会の取り組みが、県の観光振興の面から、高く評価されたものです。

森林セラピーシンポジウム 癒しの森へのいざない

基調講演（要旨抜粋）

ブナの知られざる生き様と その楽しみ方の提案

山形大学農学部准教授
小山 浩正 氏

里山の荒廃が問題視されてきているが、セラピーや観光の面などから、森林には、新しい活用の可能性が見出されている。

森を理解し、楽しむには、その植生を理解することが大切。その意識をもって森を歩くことで、目に映っても見えていなかったことが再発見できる。例えば、虫食い穴のない朴の葉は約6%しかなく、葉脈が出っ張ったブナも珍しい。こういった自然のおもしろさや、数年に1度しか味わえないブナの実の希少性に着目するなど、生命の循環を身近に感じながら、森林を活かす新しい活動を展開し、発信していけるのではないだろうか。

●**基調講演**
五月三十一日、総合セン
ターで、町主催の森林セラ
ピーシンポジウムが開催さ
れました。

▼**講師** 山形大学農学部
准教授 小山 浩正氏



●**パネルディスカッション**
▼**コーディネーター**
NPO森林セラピオン
サイエティ事務局長
河野 透氏

▼**パネラー**

東北芸術工科大学教授

田口 洋美氏

JTBヘルスツーリズム

研究所首席研究員

木谷真由美氏

住空間工房代表

早坂みどり氏

町内外から約百人が参加したシンポジウムでは、基調講演やパネルディスカッションをとおして、森林セラピーへの理解を一層深めるとともに、町全体を活性化

化していくための方策などについて意見が交わされました。

パネルディスカッションでは、森と人との関係について研究を進めている田口洋美氏が、

「森林セラピーを新たな町の資源として活かすには、現在の形にとらわれず、地域みんなが関わり合っていくための仕組みが大切」と話されました。

また、河野透氏は、「小国方式の森林セラピー基地を創造し、誇りある幸福人口の定住化につなげていきたい」と今後への期待を話されました。



森林セラピー アテンドを組織化

六月七日、旧小玉川小学校を会場に、森林セラピーアテンドミートイニング（伊藤良一会長）が開催されました。これは、森の案内人を務めるアテンドによって構成され、知識の共有や、案内技能の向上を狙いとしています。この日は、十三人のアテンドが参加し、癒し体操や案内方法の研修を行い、その後は、セラピーロードの清掃も実施されました。

平成21年度 小国町職員を募集します

■職種及び人員

- ① 初級行政職 若干名
- ② 初級土木職（技師） 若干名
- ③ 薬剤師 1名
- ④ 看護師 若干名
- ⑤ 技能労務職（運転手） 1名

■受験資格

- ▼①②は、昭和56年4月2日以降に生まれたかたで、高校卒業以上の学歴を有するかた（平成21年3月卒業見込みのかたを含む）
- ▼③④は、昭和53年4月2日以降に生まれたかたで、看護師、薬剤師の資格を有するかた（平成21年3月まで当該免許を取得する見込みのかたを含む）
- ▼⑤は、昭和44年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれたかたで、普

通自動車免許、大型自動車免許を有し、整備管理者（自家用大型トラック8t以上）の資格要件を満たすかた

※ただし、日本国籍を有しないかた及び地方公務員法第16条に該当するかたなどは受験できません。

■申込書の受付期間

7月7日（月）～8月13日（水）

■受付時間及び受付場所

午前8時30分から午後5時まで（土、日、祝日を除く毎日）総務企画課で受け付けます。

■試験日

9月21日（日）

■試験場所

長井南中学校

■試験内容

- ▼①③⑤は、高卒程度一般教養試験、職場適応性検査、作文試験
- ▼②は、高卒程度一般教養

試験、職場適応性検査、作文試験、土木専門試験

▼④は、看護師専門試験、職場適応性検査、作文試験、看護師適性検査

■申込書の請求方法

申込書は、総務企画課と町民課窓口にて用意していただきます。（8月13日までの間、毎日午前8時30分から午後5時まで）

土、日、祝日を除く日は、健康管理センター、総合センターでも交付します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用申込書」と朱書きのうえ、三百三十円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒（角2）を同封して、総務企画課法務行政担当あてに請求してください。

■問合せ先

総務企画課へ

募集

町営住宅入居者募集

■小坂町団地 3DK2戸

▼対象 所得制限がありませんので、お問い合わせください。

▼家賃 所得と家族構成により決定

■勤労者住宅小坂町団地 2K1戸

▼対象 町内で働くかた

▼家賃 三万三千元

▼敷金 家賃の3カ月分

▼募集期限 7月9日（水）

▼入居時期 7月中旬以降

▼問合せ先 地域整備課へ

西置賜行政組合職員募集

■募集内容

① 消防職 1人

② おきたま荘職員 1人

■受験資格 昭和55年4月

2日以降に生まれた高卒以上の学歴を有するかた
（①は西置賜在住のみ）

お知らせ

■募集期間

8月1日(金)～8月15日(金)

■試験日 9月21日(日)

■試験場所 長井南中学校

■受験方法 所定の申込書を提出してください。

■申込先 消防署小国分署

(☎62-2154)へ

ご案内

町民プールオープン

■期間 7月5日(土)～8月24日(日)

■時間 9時～11時30分、1時～4時30分

■使用料 無料

■問合せ 総合センターへ

介護者交流会

■日時とコース

①7月31日(木) 梅花皮荘

②10月21日(火) りふれ

※いずれも、午前10時～午後3時30分まで

■対象 要介護1～5の

認定を受けているかたを在宅介護している家族

■参加料 千円

■定員 各コース30人

■申込期限 7月25日(金)

■申込先 健康福祉課へ

自衛官等採用説明会

■日時 7月13日(日) 午前10時～

■場所 総合センター

■対象 学生やその父兄

■問合せ 自衛隊米沢地域事務所(☎0238-23-0011)へ

平成20年度猟銃等講習会

■日時 7月29日(火) 午前9時～

■場所 総合センター

■対象 猟銃、空気銃を

持っているかた

■申込期限 7月28日(月)

■持参するもの

顔写真1枚、山形県証紙(三千円)、印鑑

■申込先 小国警察署(☎62-0110)へ

猟銃免許講習会

■日時 8月3日(日) 午前9時～午後4時30分

■場所 ビックウイング

■対象 新たに狩猟免許

を取得しようとするかた

■受講料 七千円

■申込期限 7月29日(火)

■申込方法 所定の申請書を提出してください。

■申込先 山形県猟友会

(☎023-624-0382)へ

催し

森林セラピー健康ウォーク

■日時 7月19日(土) 午前8時30分～午後5時

■場所 温身平ほか

■内容 散策、温泉浴・健康食体験、講話など

■定員 20人

■参加料 二千五百円(昼食、入浴料等込み)

■申込期限 7月10日(木)

■申込先 産業振興課へ

白い森仙人講座

■開催日と内容 7月17日(木)心の健康

9月25日(木)16ミリ映画会

10月23日(木)健康講話

■時間 午前10時～12時(受付9時30分)

■場所

老人福祉センター

■問合せ 社会福祉協議会(☎62-2825)へ

横川ダム見学会

■日時 7月21日(月) ①午前コース 10時～

②午後コース 2時～

■場所 役場駐車場集合

■申込期限 7月11日(金)

■定員 各40人

■申込先 横川ダム管理支所(☎65-2363)へ

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 7月8日、15日、22日
 子育て講座「救急法」
 29日、8月5日

■時間 午前10時～

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

総合センター
 7月10日、24日
 おぐに保育園

■時間 午前10時～

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 7月12日(土)

■内容 イワナのつかみ取りなど

■申込期限 7月10日(木)

■問合せ

子育て支援センターへ

☆なかよし広場☆

■日程と場所 7月3日、17日

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇流星の絆 東野 圭吾
- ◇A型自分の説明書 Jamais Jamais
- ◇山小屋ごはん 松本 理恵
- ◇アンチエイジングの「食」の本
オレンジページ
- ◇財布のつぶやき 群 ようこ
- ◇ア・ソング・フォー・ユー
柴田よしき
- ◇甲子園への遺言 門田 隆将
- ◇こころげそう 畠中 恵
- ◇こりすのおかあさん
浜田廣介・作 いもとようこ・絵
- ◇ランプの精リトル・ジーニー
ミランダ・ジョーンズ

●休館日 毎週月曜日

事業所名	職種	求人数	勤務時間
大河内産業(有)	砂利プラント運転士ほか	7人	8:00~17:00
(有)小国測量設計事務所	測量助手	2人	8:00~17:00
安部工業(株)	型枠大工ほか	3人	8:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00~17:00
(株)ジェイサービスおきたま	配送及び給油所業務	5人	8:00~16:45ほか
電興(株)	薬剤師	1人	8:50~17:30
医療法人社団緑愛会	グループホーム介護員	2人	7:00~16:45ほか
日本重化学工業(株)小国事業所	機能金属材料の製造及び附帯する業務	4人	8:15~17:15ほか
(株)横川建設	土木施工管理技士(見習い可)ほか	4人	8:00~17:00
小国町森林組合	スタンド給油・配達業務ほか	2人	7:30~17:00ほか
(株)船山工務店	土木施工管理技士	2人	8:00~17:00
(有)コンズカンパニー第一ホール小国店	ホールスタッフ	2人	8:00~17:30ほか
合資会社山佐佐藤農機店	営業・販売・整備工	2人	8:30~17:30
山和建設(株)	土木施工管理技士ほか	4人	8:00~17:00
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
ひさご電材(株)小国工場	電気部品製造	1人	8:30~17:30
(株)ベンチャービジネス春樹	研究員ほか	11人	8:30~17:30
(有)蔵王ストアー	レジ係	1人	8:45~18:00
(株)シーテック山形営業所	社内システムの設計・開発ほか	3人	9:00~18:00
(株)スタッフサービス	電気系生産技術	1人	8:30~17:00
(株)ジャパンクリエイト山形営業所	半導体製造・装置製造	2人	8:30~16:40ほか
日本たばこ産業(株)仙台支店	たばこ営業活動の補助	1人	9:00~16:00
(株)ナウエル	設備業務及び運転手	1人	8:30~17:30
酒味庵まつばら	居酒屋での接客	1人	17:00~21:00ほか
味処藤よし	ホール・接客	1人	9:00~14:00
(株)アスモ	販売員	1人	9:00~15:00ほか
小国町役場	プール監視業務	5人	8:30~17:15

今月の納税

今月の口座振替日は、次のとおりです。振替日前日まで、指定口座に入金してください。

- 7月28日(月) 水道料
 - 7月31日(木) 後期高齢者保険料1期、国民健康保険税1期、固定資産税2期、介護保険料、下水道料・簡易下水道料、住宅使用料、保育料など
- 問合せ 税務出納課へ

求人情報

左の表は6月15日現在の求人内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。※詳しいことは、ハローワーク長井(☎84-8609)へ



7月29日(火) 小国町長選挙

町政を委ねる人を選ぶ大切な選挙です。忘れずに投票してください。

- 告示日 7月24日(木)
- 投票日 7月29日(火)

投票できるのは

投票日当日で満20歳以上のかた（昭和63年7月30日までに生まれたかた）で、平成20年4月23日以前から小国町に住所を有するかた

期日前に投票できます

投票日の当日、仕事やレジャーで不在になるかたは、「投票日前でも期日前投票」ができます。印鑑は不要です。入場券を忘れずに

持参して投票ください。

【役場会場】

- ▼ 期間 7月25日(金)～7月28日(月)
- ▼ 時間 午前8時30分～午後8時
- ▼ 場所 3階庁議室
- ▼ 健康管理センター会場
- ▼ 期日 7月25日(金)
- ▼ 時間 午前9時～午後4時
- ▼ 場所 風のホール

郵便による不在者投票・不在者投票の代理記載

身体障害者手帳や介護保険の被保険者証の交付を受けているかたで、一定の要件に該当するかたは、「郵便による不在者投票」や「郵便による不在者投票の代理記載制度」が利用できます。郵便による投票をされる際は、事前に郵便当投票証明書（交付を受ける必要があり）の交付を受け、早め手続きを行ってください。

指定病院の不在者投票

都道府県の選挙管理委員会に指定された病院、老人ホーム等の施設に入院又は入所しているかたは、その施設で申し出によつて不在者投票ができます。

町内では、次の施設が指定されており、投票日は各施設により異なります。希望する場合は、早めに問い合わせてください。

- ・ 町立病院
- ・ 介護老人保健施設「温身の郷」
- ・ 特別養護老人ホーム さいわい荘

投票時間は

投票時間は、午前7時から午後8時までです。ただし、次の14カ所の投票所は、午後7時までです。注意してください。

- ・ 第5投票所 宮の森会館

開票は午後9時から

開票は、投票日当日の午後9時から、町民体育館で行います。参観に来られるかたは、会場の秩序維持にご協力ください。

- ※ 詳しいことは、町選挙管理委員会（☎62-2111）へ

保健カレンダー

■問合先 健康福祉課へ

乳幼児健診	月日	受付時間	対象(生まれた月)	場所
4ヵ月児健診	8/29	13:00~13:15	平成20年4月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
1歳児健診			平成19年8月	
2歳児歯科健診	8/27	14:00~15:00	平成17年12月~18年2月	
フッ素塗布			平成17年6月~8月 平成18年7月~9月	

高額医療費の申請を忘れずに

75歳以上(65歳以上の方で障害認定を受けたかたを含む)のかたで、月ごとの医療費が高額療養費に該当した場合、高額療養費支給申請のお知らせハガキが届く場合があります。ハガキが届いたかたは、町民課で手続きをしてください。(申請済みの場合、ハガキが届かなくても高額療養費が支給されます。)

■申請に必要なもの お知らせハガキ、被保険者証(ピンク色の保険証)、印鑑、金融機関の口座番号が確認できるもの(ゆうちょ銀行以外)

※なお、代理人口座に振り込む場合は、本人・代理人それぞれの印鑑と代理人の金融機関の口座番号が確認できるもの(ゆうちょ銀行以外)が必要です。

■問合先 町民課へ

入院する(している)かたへ ご存じですか? 入院費用の軽減措置

国民健康保険及び後期高齢者医療に該当するかたは、入院費用が軽減される制度があります。

軽減されるには「限度額適用証及び減額認定証」が必要となりますが、この有効期限は、毎年7月末日です。更新する場合や、新たに入院する場合は、入院前に申請してください。(70歳以上のかたは、住民税非課税のかたのみが対象です。)

■申請に必要なもの 保険証、印鑑、現在お持ちの認定証

■問合先 町民課へ

「エコスタイル」にご理解を

町では、地球温暖化防止にむけて省エネルギーを一層推進するため、エコスタイルキャンペーンを実施しています。室温設定や軽装などに、理解と協力をお願いします。

■実施期間 6月16日(月)~8月29日(金)

■実施内容

- ・冷房温度の28℃設定
- ・ノーネクタイ、ノージャケットなど軽装の奨励

家庭から進めるエコ運動

県では、「もったいない、やまがたECOチャレンジキャンペーン」を実施し、参加家庭を募集しています。これは、1ヵ月間の二酸化炭素削減量を報告すると、抽選で賞品が当たるものです。参加希望のかたは、応募用紙を準備していますので、ご連絡ください。

■問合先 総務企画課へ



相 談

年金相談

- 日 時 7月16日(水)
- 受 付 10:30~14:30
- 相 談 11:00~
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 社会保険事務所職員
- 問合せ 町民課へ

人権相談

- 日 時 7月25日(金)
- 受 付 10:00~12:00
- 場 所 総合センター
- 対象者 町人権擁護委員
- 問合せ 町民課へ

移動法律相談

法律上の悩み事を抱えている高齢者のかたを対象に無料相談を行います。

- 日 時 7月15日(火)
- 10:00~15:00
- 場 所 老人福祉センター
- 問合せ 社会福祉協議会
(☎62-2825) へ

労災年金巡回相談

労災年金についての疑問や、悩み、法律上の問題などについて無料相談を行います。

- 日 時 7月23日(水)
- 10:00~12:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 (財)労災年金福祉協会職員
- 問合せ (財)労災年金福祉協会
山形労災年金相談所(☎023-624-5384) へ

今年も揺れる！

大相撲東関部屋「小国合宿」

- 期 日 8月14日(木)~21日(木)
- 稽古場 コバレントマテリアル(株)
小国事業所内の相撲場
- 問合せ 小国合宿実行委員会事務局
(産業振興課内 ☎62-2416) へ

税源移譲により

平成19年度の住民税が 還付される場合があります

■対 象

平成19年に所得が減り、所得税が課税されなかったかた

■還付内容と申告方法

税源移譲により、所得税率の変更による税負担の軽減の影響は受けず、住民税の変更による税負担の増加の影響のみを受けたかたについては、平成19年度分の住民税額から税源移譲により増額となった住民税相当額を減額し、納付済の場合には還付します。

所得変動に係る経過措置による住民税の還付を受けるためには、税務出納課での申告が必要となります。

対象者には、個別にお知らせしておりますが、忘れずに申告してください。

■申告期限 7月31日(木)

※申告後、審査等を行うため結果通知までに時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。

※年末調整をされていないかたで、所得税の確定申告や町県民税の申告をしていないかたは、所得税または町県民税の申告書を提出し、所得を確定したうえで判定します。

■問合せ 税務出納課へ

職場を訪ねて ③

～コバレントマシナリ株～

今回は、コバレントマシナリ株の「製造課」を訪ねました。



真剣なまなざしで、溶接部分の酸化被膜を取り除く安部拓哉さん

コバレントマシナリ株では、コバレントグループ各社の機械や設備の設計・製作、修繕などを行っています。

今年の春に入社し、鉄工部門に配属されている安部拓哉さんは、「機械などが好きでこの仕事に就きました。先輩のように精度の高い仕事を目指しています。重いものや、危険なものが多い職場なので、まずは安全を心がけています」と話してくれました。

安部さんの上司は、「精密機械の組み立てや修繕から、鍛冶屋のような仕事、配管や板金、営繕、電気の修理まで、業務は多岐にわたります。熟練の技を持った職人が集まる技能集団のような会社です」と話していました。

編集後記

先日、町民体育館で開催された置賜地区統計調査員連絡協議会の研修会を取材しました。研修会では、今善一氏（舟渡）を講師に迎えて、食の変遷についての講演が行われました。この中で、今氏は、「自給自足の時代は、食と農は一体だった。今は、別のものとなってしまっている」と話していました。今月の特集で、食や地産地消を取りあげてみました。「昔は食べるために働いていたが、今は働くために食べている」という今氏の言葉を、あらためて考えてみたいと思います。

(片桐)

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

田	沢	頭	荒	木	幸	羽	(陽介)
小	国	町	佐	藤	凛	太郎	(阿沙仁)
中	島	山	口	眺			(智麻里)
沼	沢	二	馬	実	祐		(真信一)
緑	町	長	岡	花	恋		(政裕貴)
							(博之希)

結婚おめでとうございます。

(真	室	川	町	平	泉	勝	也
叶	水	紺	野	須	貝	陽	子
叶	水	須	田	前	山	公	一
(伊	佐	領	田	小	山	美	香
町	形	原	高	高	橋	和	憲
(山	形	市	佐	藤	早	希	子
(東	形	市	渡	辺	弘	子	子
(山	形	市	津	村	美	弥	子
(小	国	町	中				
(小	国	町					

おくやみ申し上げます。

幸	町	佐	藤	と	も	(81)
大	滝	塚	原	松	彌	(88)
越	里	木	村	ヨシ	ノ	(85)
栄	町	奥	村	ヨシ	子	(64)
松	岡	後	藤	フサ	子	(77)
緑	町	大	久	保	幸	太郎 (83)
石	滝	戸	田	い	は	(79)
小	渡	今	繁	四	郎	雄 (90)
緑	町	佐	藤	武	雄	(87)
中	崎	奥	村	達	夫	(86)
栄	町					(62)

人口のうごき

人	口	男	…	4,593人(-1)
		女	…	4,825人(+4)
		計	…	9,418人(+3)
世	帯	数		3,267世帯(+9)
				平成20年5月31日